

研修名	災害・事故時のこころのケア対策事業関係職員研修 「北九州市の防災と災害支援の心がまえ」
講師	○「北九州市の防災について」 北九州市危機管理室危機管理課より説明 ○「災害時の心理的支援～サイコロジカル・ファーストエイドについて～」 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部 研究員 大沼 麻実 氏
開催日時	平成30年8月9日（木）13：30～17：00
開催場所	北九州市総合保健福祉センター（アシスト21） 2階講堂
参加者数	98名（内訳：北九州市役所職員、医療機関・相談機関等の職員など）
研修の内容等	<p>市職員や被災者の支援に携わる可能性がある医療機関・相談機関等の職員を対象に、防災知識や災害時のこころのケアについての知識・対応等を学び、相談支援技能を高めることを目的として研修を実施した。研修では、グループディスカッションも行いながら、サイコロジカル・ファーストエイドの基本的な考え方、活動原則、セルフケアと同僚へのケア等について学んだ。</p> 
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市の防災については、今後どのような災害が予想されるか、最近の災害の要因などは分かりやすかったです。 ・避難所運営支援や、市の総合相談窓口対応に役に立つ、基本的なスキルが身についたような気がする。 ・PFAは災害時のみならず、普段の業務でも活かせそうだった。 ・ロールプレイやディスカッションを行うことで、どう声かけをするか、どのように話を聞いてもらえば安心するのか勉強になりました。 ・セルフケアや同僚との関係等、仕事をする上で考えなくてはと改めて考えることができました。 ・市職員は避難所の運営に携わる可能性が高い。そのため、このような研修をもっと行い、より多くの職員が受けておくべきと思う。 など